

令和6年度 第2回学校関係者評価委員会 報告書

認定こども園かいけ心正こども園

○評価日 令和7年2月25日（火）10：30～11：30

○場所 かいけ心正こども園 会議室

○出席委員

学校関係者評価委員	所属	出欠
A 委員	小学校 校長	○
B 委員	公民館 館長	○
C 委員	主任児童委員	○
D 委員	連携保育園 園長	○
E 委員	保護者会 会長	○

○園からの資料・・・別紙参照① 令和6年度 自己評価表

別紙参照② 令和6年度 学校評価アンケート（保護者用）

○園からの説明に対して、学校関係者評価委員の皆様からの意見

【A 委員】

- ・避難訓練について、小学校が近隣の保育施設の避難場所となっている。複数の保育施設が同時に避難してきた時、在校生もいる中で受け入れができるだろうか。今後、具体的に近隣の保育施設と連携して避難訓練を実行していきたい。
- ・小学校でも実際職員が足りない状況のため、職員の休憩時間の確保は課題である。
- ・園児たちは、幅広い体験をしている。小さいころの体験はとてもいいことだと思う。

【B 委員】

- ・木育インストラクターの活躍は、今後期待できる。鳥取県が力を入れていることであり、木はとても魅力的である。端材を使って何か作るというイベントもいいと思う。
- ・保護者アンケートについて、肯定的意見はいいが、否定的評価の詳細については、園の改善につながるので、しっかり意見を求めていく必要がある。

【C 委員】

- ・自己評価表にもあったが、モンテッソーリ教育を特色から方向転換するのはいいと思う。
- ・職員の休憩時間については、取れる人は取っていると思うが、仕事熱心で取れない人については、周りが心配りをしながらフォローして平等に取れるようにしてあげてほしい。職員の健康管理は、仕事にとってとても大切である。
- ・保護者アンケートの回答率が低いのが気になる。Google フォームを活用するのは効率的でいい面もあるが、無記名だけにアンケートの回答率を上げるためにペーパーでのアンケートでもいいのではないか。

【D 委員】

- ・自園でも、休憩時間の確保をするように努めている。職員にとって、こどもの声から離れる

時間はとても大切であり、こどもの泣き声によって追い詰められている職員もいたりするので、休憩室が活用できていないのが残念である。

- 行事の平日開催も、働き方改革としていいと思う。

【E 委員】

- 挨拶については、保護者から他のこどもへ挨拶しているのを見たことがないがどうか。挨拶については大人が率先して、全員で取り組んでいくことが必要である。

⇒園からの回答

上記のようなたくさんのご意見を頂きましたので、今後の園運営や保育に生かしていきたいと考えております。

以上